

議 事 録

会議名	平成 30 年度定時常任幹事会		
No.		文責	根本 学
開催日時	平成 30 年 6 月 16 日（土）13：30～14：20	開催場所	東京学芸大学構内 第 2 むさしのホール 2 階
出席者 【敬称略】	1 期 野村寛次 2 期 榎本奎介 3 期 三浦重孝 12 期 小川忠夫 13 期 立花恵美子 15 期 荒井耕一郎 16 期 川上純二 18 期 関俊夫 柳本婁美 中谷和夫 中久保慎一 20 期 川田紀雄 21 期 高坂憲二郎 24 期 柳谷一郎 25 期 神田薫 小林稔 高木繁行 宮下真美 鈴木敬一郎 27 期 富士森みつ 安藤裕 一 30 期 野久尾悟 芹沢睦之 根本学		
会議の目的	決議事項 第 1 号議案 第 8 期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）計算書類承認の件 第 2 号議案 第 9 期（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）予算書類承認の件 第 3 号議案 理事 15 名選任の件 報告事項 第 8 期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）事業内容、第 9 期（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）事業計画報告の件 その他 第 9 期（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）活動予定について		

内容

定刻に小川常任幹事会議長により平成 30 年度常任幹事会の開催が宣言され、事務局より常任幹事 112 名のうち出席者 24 名、委任状 49 名によりこの常任幹事会が成立していることが報告された。続いて議事録作成を根本副理事長・神田副理事長が担当することが承認された。

【決議事項】

■第 1 号議案 第 8 期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）計算書類承認の件

関副理事長より添付資料④「収支計算書」、⑤「正味財産増減計算書」、⑥「貸借対照表」に沿って大要以下のとおり説明がなされた。

- （1）寄付金収入は 70 周年記念事業に伴い予算を増額したが、さらに上回る 112 万円強の実績があった。
- （2）70 周年記念事業寄付支出予算 50 万円は 70 周年記念誌の購入を想定していたが、記念誌がまだ出版されていないので未執行である。23,680 円の支出は記念講演を行った 35 期中川毅氏の著書を購入して母校に寄付したものの。
- （3）懇親会は 70 周年記念式典後の祝宴として実施したため、同窓生のほか現旧教職員、保護者など計 163 名が出席し費用が予算 21 万円を大きく上回る 53 万円強となった。
- （4）ホームページ保守費は前年分と合わせた 2 年分の実績である。ホームページ改修費は管理者編集作業簡便化、HTML エディタ編集可能化、プルダウン選択項目追加等の機能改修に伴うもの。
- （5）会報が 3 月に発行されるため請求が翌年度の 4 月になることにより、会報制作費は昨年度の第 4 号分が計上されている。発行部数は順調に増えている。
- （6）貸借対照表の貯蔵品は 65 周年記念 DVD（1000 セット制作）の残存価値で 149 セット分を指す。

以上の報告をもとに宮下監事より監査報告があり、計算書類は適正であり法令及び定款に従い、同窓会の状況を正しく示している旨が報告され、議長が本議案の賛否を議場に諮ったところ、全会一致で承認された。

■第2号議案 第9期（平成30年4月1日～平成31年3月31日）予算書類承認の件

関副理事長より添付資料⑦収支予算書に沿って大要以下のとおり説明がなされた。

- (1) 会報等寄付金収入は70周年記念誌の希望者からの徴収を想定して前年度より増額し120万円とした。
- (2) わかたけ会寄付金支払は従来30万円としていたが、後述する母校の現況に鑑み50万円に増額した。
- (3) 70周年記念事業寄付は記念誌単価を1500円と想定し、400部を購入するとして60万円を計上した。
- (4) ホームページ改修費は内容が確定していないが前年実績並みの15万円とした。
- (5) 事務局運営費は、今年度は登記費用7～8万円が発生するが前年度実績に鑑み予算は同額とした。

ここで根本副理事長より母校の現況について大要以下のとおり説明がなされた。

- (1) 母校の教務費や設備維持費は2000年に発足した教育後援会「若竹」（以下「若竹会」）を通じて保護者が拠出する会費を大学に寄付し、大学側予算と合わせて執行されている。
- (2) 若竹会の正会員は保護者で、卒業生保護者と同窓生が特別会員、教職員の入会は認められていない。入退会は任意である。
- (3) 若竹会の予算規模は年間4900万円弱で、非常勤講師・用務員・健診医の謝礼や消耗品等の中学校執行分が約1600万円、ビデオカメラや理科器具・図書・教員研修費・施設整備等の大学執行分が約3200万円である。
- (4) 近年まで文部科学省の国立大学運営費交付金が毎年度1%ずつ削減されたことなどから、母校の予算状況は厳しく、今年度から生徒数は1クラス40人から35人に減り、総数は今後3年間で480人から420人に減少し、これに伴い若竹会の収入も減ることとなる。
- (5) 若竹会は入会金を10万円から13万円に、年会費を36000円から4万円に増額したが、2020年度から6年程度で実施する予定のエアコン更新費（総額5000万円）の負担が重く、現況では2022年度から収支が赤字転落する見込みである。
- (6) 以上の状況から、若竹会から同窓会に対する財政的な援助の期待はかつてないほど高まっている。

以上の説明の後、議長が本議案の賛否を議場に諮ったところ、全会一致で承認された。

■第3号議案 理事15名選任の件

荒井理事長より、理事13名は本定時常任幹事会終結の時をもって任期満了となるため、添付資料②議決権の代理行使の勧誘に関する参考書類の「2. 議案および参考事項 第3号議案 理事15名選任の件」に記載のとおり、改めて理事15名の選任を願いたい旨が述べられ、議長が本議案の賛否を議場に諮ったところ、全会一致で承認された。

【報告事項】

■第8期事業内容、第9期事業計画報告の件

関副理事長より、第8期事業内容について添付資料⑧「平成29年度活動報告」に沿って報告がなされた。

続いて荒井理事長より、第9期事業計画について添付資料⑨「第9期事業計画」に沿って報告がなされた。

以上をもって本常任幹事会における報告および全議案の審議を終了したので、議長は14時20分閉会を宣言した。

上記議事の経過の要領およびその結果を明確にするために、本議事録を作成した。

以上